



市では「富士見市男女共同参画推進条例」を制定し、性別にかかわらず、個人の能力が尊重される社会をめざして“いっぽいっぽ”取り組みを進めています。

問合せ／人権・市民相談課 ☎049-251-2711

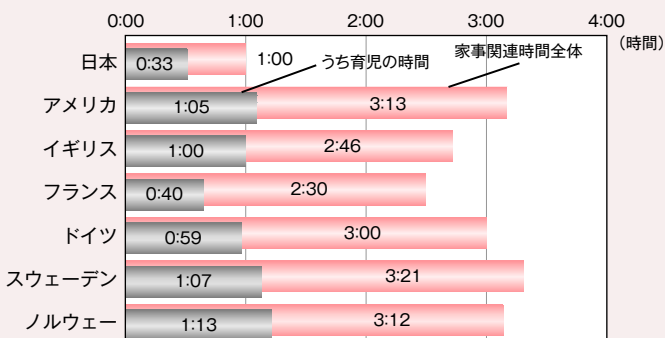
男女共同参画キーワード イクメン (育MEN)

イクメンとは、積極的に育児を楽しむ、または将来そんな人生を送ろうと考えている男性のことです。最近、街でベビーカーを押したり、公園で子どもを遊ばせているイクメンパパをよく見かけます。

世界から見るとまだ遅れている日本のイクメン

世界的に見て日本人男性のイクメン度はどれくらいでしょうか。6歳未満の子どもがいる日本人男性の家事・育児の時間は約1時間、そのうち育児時間は約30分と世界の男性と比べると、まだまだ少ないようです（下図参照）。

6歳未満児を持つ男性の育児・家事関連時間（週全体） 少子化白書 21年度版



男性の育児休暇取得率 1.72%

育児休業は、約3割の男性が「取得したい」と希望していますが、実際の取得率は1.72%にとどまっております。「制度はあるけれど上司の理解が得られない」、「育児休暇中は無給なので経済的に厳しい」などさまざまな理由で取得が難しい状況にあるようです。

始動！ 育MEN プロジェクト

そこで厚生労働省は、男性の育児休暇取得率を現状の1.72%から2017年度には10%に、2020年度には13%に上げることを目標に、「パパ・ママ育休プラス」(※)制度を導入しました。また、男性がもっと積極的に育児に参加できるように社会全体の意識を変えるさまざまな「育MENプロジェクト」を実施しています。

※「パパ・ママ育休プラス」

2009年7月の育児・介護休業法改正によって新設された制度。男性の育児参加を促進する観点から、父親・母親がともに育児休業を取得する場合、特例として休業を取れる期間を延長するというもの。

厚生労働省イクメンプロジェクトサイト

<http://ikumen-project.jp/>

イクメンプロジェクトの詳しい内容や父親のワーク・ライフ・バランスハンドブックのダウンロードができます。

どうしてイクメンが求められるの

パパがもっと子育てに関わることは、ママの育児ストレスを減らし、ママの働き方、生き方を変えるだけでなく、子どもの成長にとっても大きなプラスになります。

また、育児休暇を取得した男性の体験談をみると「視野が広がり、新たなアイデアや企画力が磨かれた」「計算どおりにいかない子育ての経験を通じて、状況判断力、瞬発力、危機管理能力が向上した」など、子育ての経験は仕事にも大変生かされていることがうかがえます。

募集！ 富士見のイクメン

市でも、男性の家事・育児参加を応援するため、昨年11月に男性の料理教室を実施しました。今後もイクメンを応援すると同時に、男女がともにイキイキと活躍できる社会の実現を目指してさまざまな事業を実施していきます。

また、「今月の“イクメン”パパ」では、市内在住・在勤のイクメンパパを紹介していきますので、「我こそは！」と思われる方、ぜひご応募ください。

～積極的に育児を楽しむカッコいい男性～
今月の“イクメン”パパ

ご本人の希望により
掲載は控えさせていただきます

6月23日(木)～29日(水)は「男女共同参画週間」です

この週間に合わせて中央図書館では6月1日(水)～30日(木)まで、男女共同参画に関する書籍を集めたコーナーを設置します。ぜひご覧ください。